

白田町誌 近現代編 目次

口 絵

発刊のことば

佐久市長

三浦 大助

第三節

連合戸長役場と連合村の行財政

国政・県政と村民生活……………二二

発刊にあたって

白田町誌編集委員長

尾崎 行也

一

地租改正と新たな租税負担……………二二

例 言

壬申地券の交付と地租改正、地租以外の国税・地方税

二

徴兵制と警察・司法制度の発足……………二八

第一章 明治前半期の白田町域

第一節

明治維新と白田町域……………三

三

県会の開設と自由民権・大同団結運動……………三三

一 維新の動乱と白田町域……………三

第四節

産業・経済の開化と交通改革……………三六

「西牧騒動」の波及、田野口藩の動向と北越出兵

農業生産と土地利用……………三六

二 旧幕府・藩領から長野県管下へ……………七

米作りと畑作物、灌漑用水堰と水争い、養蚕業と蚕種業

尾州取締所の設置、龍岡藩の改革と廢藩まで、

山林原野の官民有区分……………四二

伊那県・中野県から長野県へ

山林原野の利益権回復、さまざまな官有林の利用

第二節

区から郡・町村の発足へ……………一二

商工業の変化と金融業の創始……………四七

一 戸籍区と大区・小区……………一二

商業と職人、酒・焼酎の醸造、器械製糸と陶器会社、

戸籍区の設置、大区・小区制の施行

銀行創設と庶民金融

二 郡区町村編制法と町村……………一六

交通・通信の改革……………五五

郡区町村制の発足、戸長役場と村会の開設、

運輸制度の改革、道路とその改修、郵便取扱所から郵便局へ

第五節 新しい身分と村民生活…………… 六〇

一 明治初年の戸籍と人口…………… 六〇

新しい戸籍と人口

二 病氣・衛生施策と医療…………… 六二

疫病と防疫・衛生施策、医師と医師会、墓地と火葬場

三 自然災害と防御法…………… 六八

明治一五年の水害、野火防御規則

第六節 文明開化と伝統文化…………… 七二

一 寺子屋から学校教育へ…………… 七二

寺子屋のなごりと学区の設定、小学校の維持・管理、

学校設立時の教員と児童、「教育令」のもとで

二 神仏分離と寺社の動向…………… 八〇

神仏分離と寺社への影響、苦難つづきの新海三社神社、

新海三社神社の伝統神事

三 伝統的文化の継承と抑圧…………… 八八

俳句熱と奉納俳額の世界、漢詩人と漢詩集の刊行、

伝統的文化のゆくえ

二 村役場の成立と村の行財政…………… 一〇二

村役場と村吏の構成、村会議員選挙と初期の村会、

区会の設置と実際、村の行財政の推移

第二節 郡政・県政と村政・村民…………… 一〇九

一 南佐久郡の発足と郡会・郡政…………… 一〇九

郡制施行と南佐久郡統合問題、郡会の開設と郡会議員、

初期郡政の重点施策

二 県政の展開と村政・村民…………… 一一四

県会議員選挙と議員の動向、県政と地域利害の対立、

村民の県税負担

第三節 国政と村政・村民…………… 一二〇

一 国会開設と村の総選挙…………… 一二〇

国会開設と国政選挙、村の国政選挙

二 村政と国政・国税負担…………… 一二五

村政の国政委任事務、村民の国税負担の増大

第四節 産業・経済の発達と交通・通信…………… 一二九

一 農業の発達と農事改良…………… 一二九

稲栽培の改良、養蚕業の改良と進展、新しい農業の胎動

二 山林原野対策と公有林…………… 一三七

国有林下戻し運動の展開、開墾の継続と公有林の造成

三 商工業の発展と金融業…………… 一四一

物流の変化と白田町の商業、器械製糸の進展と地方銀行

第二章 明治後半期の白田町域

第一節 町村合併と新村の成立…………… 九九

一 白田・切原・田口・青沼四か村の発足…………… 九九

県の町村合併案と白田町域各村、白田・切原・田口・青沼村の発足、

郡・県の動向と新村名など

四 交通・通信の発達 …………… 一四七

県道・里道の整備、乗合馬車・自転車・自動車、
私設軽便鉄道計画、電信・電話と郵便事業

第五節 社会の変化と日清・日露戦争…………… 一五四

一 人口動態の変化 …………… 一五四

人口の自然増、人口の社会的増減

二 保健・衛生政策と医療施設 …………… 一五六

清潔法の施行、衛生組合と衛生会、伝染病と隔離病舎、
看護婦の養成と産婆

三 災害復旧と防災組織 …………… 一六四

主な水害とその復旧、消防組の設置とその活動

四 日清・日露戦争と村民の対応 …………… 一六九

日清・日露戦争と出征、村民の統後援活動、
戦没者村葬のはじまり、日本赤十字社とその活動

第六節 教育の進展と精神文化 …………… 一七七

一 高等小学校と実業補習教育 …………… 一七七

高等小学校の設立、実業補習学校と青年教育論、
小学校校舎の増新築

二 教育会と教員養成所 …………… 一八三

南佐久教育会の誕生、南佐久教員養成所の設立

三 青年会・婦人会とその活動 …………… 一八七

村青年会の結成、夜学への取組み、青年会の諸活動

四 キリスト教と佐久教会 …………… 一九三

佐久地方へのキリスト教伝道、佐久教会の創立、
娼娼運動の展開、「佐久新報」の創刊

第三章 大正デモクラシー期の白田町域…………… 二〇三

第一節 村政の展開 …………… 二〇三

一 村政の新たな動きと財政の膨張 …………… 二〇三

村吏の構成と村政の整備、村財政の膨張と村税の増大

二 町村自治政を支えたもの …………… 二〇八

町村基本財産造成と区有財産の統合、行政補助組織の活動、
区による公共施設の建設

第二節 郡政・県政と町村政・町村民…………… 二一四

一 郡政の推移と郡制の廃止 …………… 二一四

郡会と郡政事業の推移、郡制廃止までの動き

二 県政の推移と町村政・町村民…………… 二一九

県会議員選挙の新しい動向

第三節 国政と町村政・町村民…………… 二二一

一 第一次世界大戦とその影響 …………… 二二一

第一次世界大戦の勃発、シベリア出兵と在郷軍人

二 国政の展開と憲政擁護運動…………… 二二五

衆議院議員選挙と南・北佐久郡、普通選挙運動と普選の実施

三 町村の声を国政へ…………… 二二九

——義務教育費の軽減へ…………… 二二九

町村公租・義務教育費の増大、小学校教員俸給の国庫支弁請願運動

第四節 産業・経済の発展と鉄道開通

一 農業の新しい展開

養蚕業の発展と繭価の変動、稲作の改良と農会

二 林野対策の展開と林業

国有林払下げ運動の継続、入会権の解消へむけて、

部分林・県有林をめぐって、林業生産の種々相

三 商工業の新たな発展

発電所の建設と騒擾事件、発電所と魚族の減少、

製糸工場と工女たち、佐久石の生産と三反田の発展

四 鉄道・バス交通の発展と電話の普及

佐久鉄道の開通、バス交通の発展

第五節 生活の近代化と社会問題

一 国勢調査の開始

国勢調査と人口の変動

二 生活の近代化と衛生・防災

伝染病と疾病対策、衛生環境の整備、大正三年の大水害、

青沼・湯原消防組の活動

三 社会運動と社会事業

米騒動と臼田町域の対応、小作問題と農民運動、

差別問題と同仁会・水平社、暁静処女会と臼田警察署事件、

方面委員制度と南佐久郡共存会

第六節 自由教育の展開と大衆文化

一 教育の多様化と多彩化

大正デモクラシー下の教育、教員の自己研修と一校長、
学校行事と子どもたち、自由教育への反動

二 青年会・婦人会の新活動

青年文庫の開設、社会教育と連合青年団、婦人会などの活動

三 新しいスポーツと大衆文化

野球・庭球の盛行、陸上競技と登山、スケートと水泳、

羽黒山の競馬会、自転車競走と相撲、演劇・芝居の興行

第四章 昭和恐慌・戦時期の臼田町域

第一節 昭和恐慌期の町村政・町村民

一 恐慌下の町村民の生活

昭和の幕開け、経済不況と農産物価格の暴落、増える失業者、

県や町村の不況対策

二 恐慌下の県政と町村政

普通選挙制下の衆議院議員選挙、普通選挙制下の県会議員選挙、

普通選挙制下の町村会議員選挙、農民運動の高揚と田口村の紛擾

第二節 満州事変と経済更生運動下

の町村政・町村民

一 満州事変と町村民

満州事変の勃発、満州事変の拡大、満州移民熱の高まり

二 経済更生運動と町村政

匡救土木事業と経済更生運動、切原村の経済更生運動、

選挙粛正運動のなかでの選挙

第三節 日中戦争と銃後の町村民 …… 三一八

一 日中戦争と町村政 …… 三一八

国民精神総動員運動、国民精神総動員運動と小学校、部落会・町内会・隣組の整備

二 満州移民と白田町域 …… 三二三

満州移民と分村計画、満州国南佐久分村計画、満蒙開拓青少年義勇軍の送出、佐久郷の建設

三 銃後の町村民 …… 三二九

非常時と銃後の護理、戦死者と町村葬

第四節 産業・交通・厚生 of 戦時体制化 …… 三三三

一 養蚕業・林業の統制 …… 三三三

繭価の低迷と農業の転換、米の国家管理と配給へ、農産物の供出と生産物資の配給、林産物の供出

二 商工業・交通の戦時体制化 …… 三四一

さかんな酒造りから統制へ、自動車会社の統合、佐久鉄道から国鉄線へ、道路・橋梁改修と鉄道敷設計画

三 医療・健民施策と防災 …… 三四八

佐久病院の設立、季節保育所の開設、保健婦の設置と母子保護対策、国民健康保険制度、自然災害の類発、消防組から警防団へ

第五節 戦時統制と教育・文化 …… 三五八

一 軍国主義教育の進展 …… 三五九

昭和恐慌下の小学校、青年学校の設置、紀元二千六百年奉祝行事、子どもたちの「大東亜戦争」、学童集団疎開の受け入れ、

戦時教育とその終結

二 社会教育の戦時体制化 …… 三六七

青年団運動とその転回、青少年団の活動、女子青年団の活動と婦人会、女子勤労挺身隊

三 大衆文化と情報統制 …… 三七三

ラジオの普及と活動写真、報道と娯楽の統制

第六節 太平洋戦争と戦時下の民衆 …… 三七五

一 翼賛体制と太平洋戦争 …… 三七五

紀元二千六百年奉祝行事、大政翼賛会の結成、太平洋戦争の開戦、翼賛選挙、戦時下の常会、国民義勇隊の結成

二 戦時下の生活と人口異動 …… 三八四

重要物資調査と廃品回収、戦争末期の人口調査、疎開者の受け入れ、徴兵・応召・戦没者

第五章 戦後復興期の白田町域

第一節 占領下の改革と戦後処理 …… 三九五

一 占領行政と町村・町村民 …… 三九五

敗戦直後の役場事務、疎開工場の撤退と忠魂碑の除去、諸団体の動向と女性村議の誕生

二 戦時体制の解体と町村役場 …… 三九九

町村長の動向と職員、常会は生きている、復員者への対応、引揚者への対応、軍人遺族の救援

第二節 地方自治制度と町村行政 …… 四〇四

一 地域住民による直接選挙 …………… 四〇四
参政権の拡大と町村長選挙、町村議会議員選挙 …………… 四〇七

二 民主的な町村政の展開と福祉事業 …………… 四〇七
自治の推進と新役場体制、新規公益福祉事業 …………… 四〇九

第三節 産業・経済と交通・通信の復興 …………… 四〇九

一 農業の復興と改良 …………… 四〇九
農業生産の復興、二八年の凶作と技術改善 …………… 四一三

二 農地改革と農村の民主化 …………… 四一三
農地改革の実施とその経過、改革による農家階層の変化、
農村民主化と農民運動、農民運動の高揚と田口村事件、
八ヶ岳硫黄鉱害反対闘争、農業協同組合の発足 …………… 四二二

三 商工業の復興 …………… 四二二
工業の復興と新しい動き、商業の復興と商工会の活動 …………… 四二六

四 交通・通信の復活と伸長 …………… 四二六
バス路線の復活と道路改修、小海線の復活と近代化、
交通事故の増加と安全運動、有線放送と電話の普及 …………… 四三二

第四節 社会生活の建て直し …………… 四三二

一 戦後の人口動態 …………… 四三二
戦後の復員とベビーブーム …………… 四三六

二 疾病・医療と災害・防災 …………… 四三六
伝染病と予防医療、台風被害とその復旧、
二八年凶作とその対策、消防団の発足と活動 …………… 四四二

三 佐久病院の農村医療活動 …………… 四四二

出張診療から集団健康管理へ、地域との交流のなかから、
試験のときをへて、農村医学の確立、伝染病棟建設と施設の拡充 …………… 四五二

第五節 六・三・三制教育の展開 …………… 四五二

一 国民学校から小学校へ …………… 四五二
敗戦と軍国主義の除去、進駐軍がやってきた、
人事大異動と教員適格審査、新教育理念と新制小学校、
週五日制と学校行事、白田学園の開園 …………… 四五九

二 教育委員会と教育行財政、教育諸活動 …………… 四五九
教育委員会発足と教育行財政、教員組合活動、
PTA活動、学校給食の開始 …………… 四六四

三 新制中学校の創設 …………… 四六四
小学校の併設から独立・組合立へ、新教育の実践、
労力奉仕と学校行事、運動と健康、進学と就職 …………… 四七三

四 保育所と子どもたち …………… 四七三
農繁期季節保育所の開設、私立白田保育園の開設 …………… 四七六

五 新制高等学校の発足 …………… 四七六
新制高等学校の編成、南佐久農業高校と白田高校、
長野県白田高等学校、定時制・分校と勤労青少年 …………… 四八一

第六節 公民館活動と文化・スポーツ …………… 四八一

一 公民館活動の開始 …………… 四八一
占領下の社会教育、公民館の創設とその活動、
民報・公民館報の発刊 …………… 四八五

二 青年団・婦人会の活動 …………… 四八五

青年団活動の再開、婦人会活動の再開

三 町村民のスポーツ・文化活動 …………… 四八八

体育協会の設立とスポーツの復活、文化・芸術活動の盛行

四 祭りと娯楽の種々相 …………… 四九一

小満祭の推移、町村民運動会と青年団の演芸会、

映画館の消長と都八重子一座

第六章 高度経済成長期と以後の新白田町

第一節 新白田町の誕生と町政 …………… 四九九

一 白田町の発足と町域の拡大 …………… 四九九

白田町と切原村の合併、田口村と青沼村の合併、

新白田町誕生と分町問題

二 白田町政、町議会と役場機構の整備 …………… 五〇三

統合中学校の建設、財政再建法の準用、町長・町議会議員選挙、

役場機構の改革と事務改善、役場の移転と新庁舎建設

三 国政、県政選挙と白田町民の動向 …………… 五〇九

衆議院議員選挙と郷土出身大臣、参議院議員選挙、

長野県知事選挙、県議会議員選挙

四 友好都市交流・うすだ会 …………… 五一四

ゆかりのまち・銀河連邦、関東のうすだ会

第二節 高度経済成長と産業構造の変貌 …………… 五一五

一 産業構造の変化と人口動態 …………… 五一五

新白田町の人口動態

二 農業の近代化と養蚕・畜産業の盛衰 …………… 五一七

圃場整備と土地改良事業、減反政策と稲作の転換、

養蚕・畜産業などの盛衰、花卉栽培と果樹の団地化

三 厩肥・生ごみの堆肥化と有機農業 …………… 五二六

町営堆肥製産センターの建設、白田町有機農業研究協議会

四 農業協同組合・森林組合の消長 …………… 五二九

農業協同組合の合併と活動、森林組合の活動と合併

五 商工・サービス業の動向 …………… 五三三

高度経済成長と白田町の工業、白田町の商業と商圏の変化

六 交通・通信の変貌 …………… 五三九

道路の舗装と拡幅、バス・列車の乗客減少、

自動車の増加とバイパス建設、電話の自動化と携帯電話の普及

第三節 過疎の進行と福祉型社会へ …………… 五四四

一 福祉行政の展開と人権対策 …………… 五四四

高齢者・障害者福祉の推進、同和対策事業の進展

二 町民生活環境の整備 …………… 五四七

上水道と簡易水道、尿尿処理と環境衛生センター、

公共下水道の整備と普及

三 生活の向上とごみ処理問題 …………… 五五〇

急増するごみと処理対策、農林省補助金の生ごみ堆肥化

四 佐久総合病院の発展(一) …………… 五五三

― 地域医療・教育・研究 …………… 五五三

集団健康スクリーニング、研修医教育と看護教育

農村医科大学構想と研修センター、農業公害と農村医学研究所
五 佐久総合病院の発展 (二)

— 国際交流・地域ケア・巨大化 …… 五六〇

国際農村医学会議の開催、在宅ケア活動と老人保健施設、
巨大化する病院経営、二二世紀への道

第四節 教育・文化の新たな展開 …… 五六八

一 教育委員会と教育行財政 …… 五六八

教育委員会と教育行政の推移、教育財政と施設・設備の拡充

二 学校教育の新たな展開 …… 五七二

小学校教育と学校行事、中学校教育と行事・部活動、
障害児教育の進展、学校同和教育の実践、高校進学増加と入試

三 幼児教育と子どもたち …… 五八〇

町立常設保育所の開設へ、保育園・幼稚園の推移、
青少年健全育成会の活動

四 社会教育の新たな展開 …… 五八五

社会教育の推進、社会教育施設と諸団体、公民館活動と生涯教育、
社会同和教育の進展、男女共同参画社会の実現へ

五 町民の文化活動と娯楽・祭り …… 五九二

文化財とその保護、コスモタワーの建設、
コスモホールと文化センター、小満祭・夏祭り・紅葉まつり、
佐久病院祭

第五節 広域行政と将来へむけて …… 六〇〇

一 広域行政の進展 …… 六〇〇

広域行政の進展と広域連合、市町村広域合併への動き
二 白田町の将来設計 …… 六〇三

白田町の二二世紀将来計画

引用・参考文献

白田町誌刊行会委員名簿

白田町誌近現代編編纂委員・執筆者および分担項目

協力機関、写真・資料等協力者

白田町誌編纂事務局

あとがき 近現代編編纂委員

伴野 敬一